



祝祭日には



を掲げましょう

いまこそ集落創生

第15回 下野明地区



平成29年5月、「知事のほのぼの訪問」として吉村美栄子県知事が初めて下野明地区公民館に来訪。「明日を語るお茶の会」の皆さんが活動を報告しながら、楽しいひと時を過ごした

町中心部から南へ約4km、国道13号線をわら坊口から明安地域方面へ入ると、最初に現れる下野明地区。地区は下野明・中下の2つの集落から成り、約45世帯、160名程が暮らしています。稲作に適した盆地が広がる当地区。「下野明」は、開墾などで取得した田のことを指す「名田（みょうでん）」に由来する説もあるよう。これは平安中期から中世にかけて呼ばれた名で、もしかすると古い開拓の歴史を持つ地区なのかもしれません。

近年では、平成20年に(株)大商金山牧場が地区内に養豚場を建設。ブランド豚の「米の娘ぶた」を出荷しています。「地区の共有土地を有効活用してもらい、新たな雇用も生まれてありがたいと思う。また、ごみ拾いボランティアや毎年7月のさなぶりなどを通して、地区との交流も図られている」と正野賢一^{けんいち}区長は話します。元気な高齢者が多いことも、下野明地区の特徴です。その理由のひとつが「明日を語るお茶の会」。毎月8日を定例日とし、地区の60歳以上の方が自由に公民館に集まることのできる場を高齢者自らで作っています。軽い体操や食事会のほか、町外へ研修旅行に行くこともあり、皆さんの楽しみのひとつになっています。

「地区としても高齢者の積極的な活動を支援している」と正野区長。明日を語るお茶の会に地区から助成金を交付し、生きがいづくりを応援しています。20名程いる子ども達は、地区全体で育てることがモットー。おじいちゃんを中心に見守り隊を編成し、小学校登校時に活動しています。これからも下野明は、高齢者の皆さんが地区の元気の源をつくっていきます。

金山町の人口は、5,465人（4月末現在）

| | |
|-----|-------------|
| 男性 | 2,660人（-7） |
| 女性 | 2,805人（-11） |
| 世帯数 | 1,760世帯 |

▼4月の異動

| | |
|----|-----|
| 出生 | 2人 |
| 死亡 | 9人 |
| 転入 | 5人 |
| 転出 | 16人 |

編集 幸記

▼今年もやってきた田植えシーズン。5月の後半にかけて続いた好天のおかげで、スムーズに進んだという方も多いかもしれません。この時期は私も家の手伝いを...と思うのですが、ここ数年は取材とパッティング。毎年、来年こそはと思っています。

▼横断歩道などで歩行者が交通事故に巻き込まれるケースが全国で後を絶ちません。悲しい事故を金山町で絶対に起こさないように、安全運転を肝に銘じ、子どもたちは地域全体で見守りましょう(うま)